

オーストラリア学会会員 研究文献目録 (追加分)

—サー—

佐藤江鈴子 Sato Eriko

「南太平洋非核地帯条約形成過程におけるオーストラリアの核軍縮外交政策」『国際公共政策研究』第9巻第2号、2005年3月、pp.241-258。

—シー—

塩原良和 Shiobara Yoshikazu

『ネオ・リベラリズムの時代の多文化主義—オーストラリアン・マルチカルチュラリズムの変容』三元社、2005年11月。

「多文化的市民のための多様な多文化主義—多文化主義政策分析のための方法的インプリケーション」有末賢・関根政美編『戦後日本の社会と市民意識』慶應義塾大学出版会、2005年3月、pp.97-121。

「『ネオ・リベラリズムの時代の多文化主義』への視座—オーストラリア多文化主義言説の変容に関する序論的考察」『アジア太平洋レビュー』（大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター）第2号、2005年9月、pp.15-26。

“Asian Middle Class Immigrants and Welfare Multiculturalism: Case Study of a Japanese Community Organization in Sydney,” *Asian Studies Review* (Asian Studies Association of Australia) 29(4). December 2005, pp. 395-414.

—ス—

住野昭 Sumino Akira

『ツーリズムが日本を救う』兵庫ジャーナル社、2004年。

「訪日外国人誘致策（ウェルカムプラン21）」『龍谷大学経営学論集』第37巻第4号、1998年3月、pp.88-101。

「The Garnaut Report and The Future of The Australian Wool Industry — Wool Protection in Australia (the past and future) —」『オーストラリア研究紀要』（追手門学院大学・オーストラリア研究所）第20号、1994年、12月、pp.43-61。

「豪州牧羊業に対する保護政策とガーノ勧告—迷走する豪州羊毛産業は復活できるか—」『大洋州経済』第8号、1994年、11月、pp.32-63。

—ト—

遠山嘉博 Toyama Yoshihiro

「オーストラリアおよびオーストラリア経済の発展・変化の基本的動向と将来展望」『追手門経済論集』第39巻第2号、2004年12月、pp.22-52。

“The Developing Australian Economy and Japan’s Involvement: Comprehending and Teaching around This Topic,” 『オーストラリア研究紀要』（追手門学院大学）第30号、2004年12月、pp.206-227。

「発展するオーストラリア経済と日本のかかわり—オーストラリアのよりよき理解と適切な教え方

オーストラリア研究 第18号 2006.3

のために—」(『オーストラリア研究』第17号、2005年3月に既掲)『第2回 Teach Australia —オーストラリアを教える先生のための実践ワークショップ—』(追手門学院大学オーストラリア研究所刊)にも収録。

「第2次大戦前における日豪羊毛貿易の発展」『追手門経済論集』第40巻第1号、2005年6月、pp.1-28。

「第2次大戦前のオーストラリアへの日本人移民の諸問題」『追手門経済論集』第40巻第1号、2005年6月、pp.29-61。

—ハ—

濱嶋聡 Hamashima Satoshi

「少数民族語の維持と復興—オーストラリア・アボリジニのバイリンガル教育をめぐる—」河合利光編著『オセアニアの現在 持続と変容の民族誌』人文書院、2002年、pp.210-230。

—マ—

松田陽子 Matsuda Yoko

「オーストラリアの先住民言語政策の展開—ニューサウスウェールズ州事例研究—」『人文論集』(神戸商科大学) 第39巻第3・4号、2004年3月、pp.296-296。

『オーストラリアの言語政策と多文化主義—多文化共生社会に向けて—』兵庫県立大学経済経営研究所、2005年。

—ヤ—

山田晴通 Yamada Harumichi

「オーストラリアの地方都市アーミデールにおけるコミュニティ放送とナローキャスティング」『地理学評論』第78巻9号、2005年8月、pp.545-559。